

1-3 環境影響評価の対象とする環境項目

区分	項目
生活環境	公害に係るもの 大気汚染、水質汚濁（底質を含む）、騒音、振動、 低周波空気振動、悪臭、地盤沈下、土壤汚染
	日照障害、電波障害
自然環境	気象、地象、水象、動物、植物、レクリエーション、自然景観
歴史的文化的環境	文化財、歴史的文化的景観

1-4 環境保全基金活用事業一覧

(平成7年度)

事業名	事業概要	事業内容
環境教育推進事業	都市・生活型公害をはじめとする環境問題の解決を図るため、府民一人ひとりに環境に対する理解と認識を深め、自発的な取り組みを促進すべく、環境教育事業の推進を図った。	・青少年指導者向け「環境学習ハンドブック」の作成 ・環境ゼミナールの開催
環境月間推進事業	環境問題についての府民意識の高揚を図るため、「エコ・ライフフェスティバル '95」等各種啓発行事を6月の環境月間において実施した。	・「エコ・ライフフェスティバル '95」の開催 ・広報宣伝等
環境情報コーナー拡充事業	府民への環境情報の普及を図るため、各種データベースの作成などを行った。	・環境教育・実践事例データベース作成委託
地域環境保全活動推進事業	市町村が住民参加により行う地域環境保全活動や環境教育事業に対し、その経費の一部を助成するとともに、民間団体による自主的な環境保全への取組を支援した。	・地域環境保全活動推進事業費補助 ・環境啓発資材配付 ・民間団体等環境保全活動奨励費
国際環境シンポジウム事業	地球環境の保全に向け、私達一人ひとりが地球市民として認識を深めることを目的とした国際シンポジウムを府、大阪市等の主催で開催した。	・国際環境シンポジウムの開催
太陽光発電システム導入事業	公共施設等への太陽光発電システムの普及を促進するため、府宮村野浄水場で効果的に導入するための検討を行った。	・太陽光発電システム導入方法等の検討調査の実施 ・太陽光発電システム導入モデル調査の実施
大気環境啓発プログラム市町村支援事業	大気環境に関する参加型啓発事業の推進を図るため、認定制度を創設するとともに、市町村が行う住民参加事業を支援した。	・市町村が開催する参加型イベントの支援
オゾン層保護対策推進事業 (一部)	国のオゾン層保護対策推進会議の報告等に基づき、回収事業促進のための啓発とともに、回収フロン破壊処理技術の開発支援を行った。	・関係業界、府民に対する啓発事業 ・フロン破壊技術の開発支援
アメニティ・エリア推進事業	快適な水辺環境の保全と創造に向けた府民の取組を進めるため、府民グループによる活動の基盤整備及び促進を図った。	・府民グループ・ネットワークの形成を目的に水環境シンポジウムの開催
水質保全啓発推進事業	水質保全の重要性を府民に認識してもらうために、啓発用の教材や資材を作成するとともに、それらを活用して市町村や民間団体等が行う水辺観察会等に支援を行った。	・観察会等啓発事業の支援 ・水辺観察の手引きの作成 ・「かっぱ探検隊」を組織し大和川探検の実施 ・子ども水環境サミットの開催
低公害車普及促進事業	自動車排出ガスによる大気汚染やエネルギー問題の啓発を行うため、高校生・専修学校生達によるソーラーカーレース等を開催した。	・ソーラーカーレースの開催 ・低公害車の展示、試乗
自動車騒音低減対策の検討調査	地域の実情に即した自動車騒音対策の実施に資するため、対策手法の検討・整理を行うとともに、その対策手法を用いて対策が必要と考えられる地点についてのケーススタディを行った。	・自動車騒音低減対策手法及び効果調査 ・対策分類別の対策手法適用範囲の整理・検討 ・特定地域の騒音低減対策の検討及び効果調査
廃家電リサイクル事業	家庭から不要になった再生可能な家電製品を回収し、シルバー人材の活用により製品の補修を行い、留学生に無償提供した。	・廃家電リサイクル事業委託